

旧ユウホウ紡績工場跡地・社宅跡地拡大図

大君川は、引き潮時なら徒歩で上流まで行ける

県有地 (旧大柿高校大君分校)

紡績工場跡地

黄色枠：大柿町大君字塩形 901 番 1
(宅地 46,009.31 m²) ※1 筆に合筆済

ダイオキシン基準不適合範囲

約 107 m²，汚染深度 0.5m，土量 53.4 m³

社宅跡地

紫枠：大柿町大君字久保田 1420 番 1 ほか 6 筆
(宅地 1,855.71 m²)

社宅跡地

【大柿町大君字久保田】

- ①1420 番 1 (宅地 717.68 m²)
- ②1420 番 2 (宅地 123.49 m²)
- ③1420 番 3 (宅地 236.91 m²)
- ④1421 番 1 (宅地 526.71 m²)
- ⑤1421 番 2 (宅地 165.94 m²)
- ⑥1430 番 1 (宅地 19.37 m²)
- ⑦1430 番 2 (宅地 65.61 m²)

【合計】 1,855.71 m²

現地写真



土砂災害警戒区域の範囲

▲土砂災害警戒区域・特別警戒区域 詳細 ▲閉じる

土石流

【指定済】

- 特別警戒区域
- 警戒区域

【指定前】

- 特別警戒区域
- 警戒区域

急傾斜地

【指定済】

- 特別警戒区域
- 警戒区域

【指定前】

- 特別警戒区域
- 警戒区域

地すべり

【指定済】

- 特別警戒区域
- 警戒区域

【指定前】

- 特別警戒区域
- 警戒区域

▲調査保留箇所 ▲閉じる

- 土石流
- 急傾斜地

▼小学校区 ▲閉じる

- 小学校区 (平成27年3月時点)

▲その他 ▲閉じる

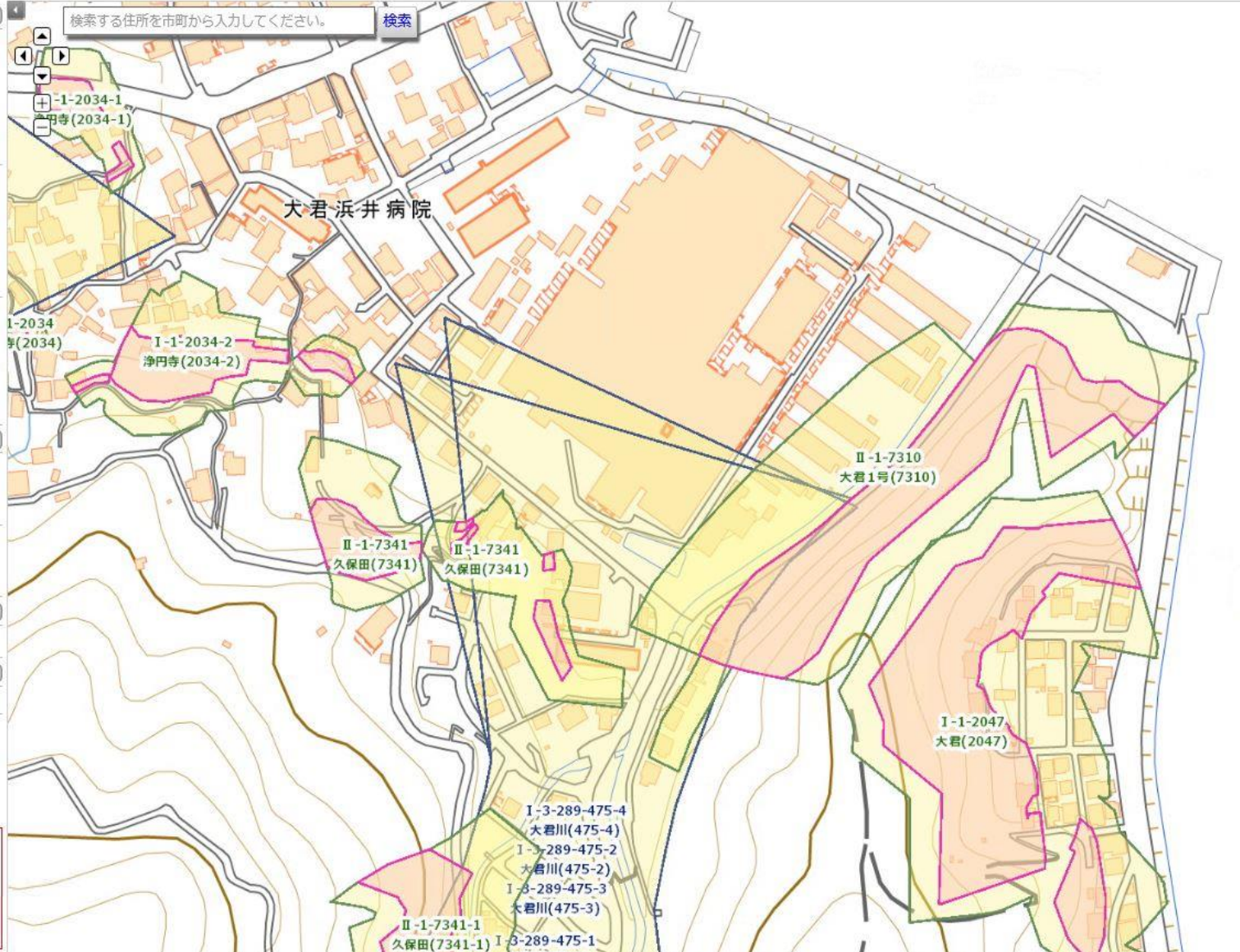
- 避難所 (令和元年6月時点) 出典
- 雪崩 詳細
- 雪崩 危険箇所

雪崩とは：山腹に積もった雪が重力の作用によって崩れ落ちる現象

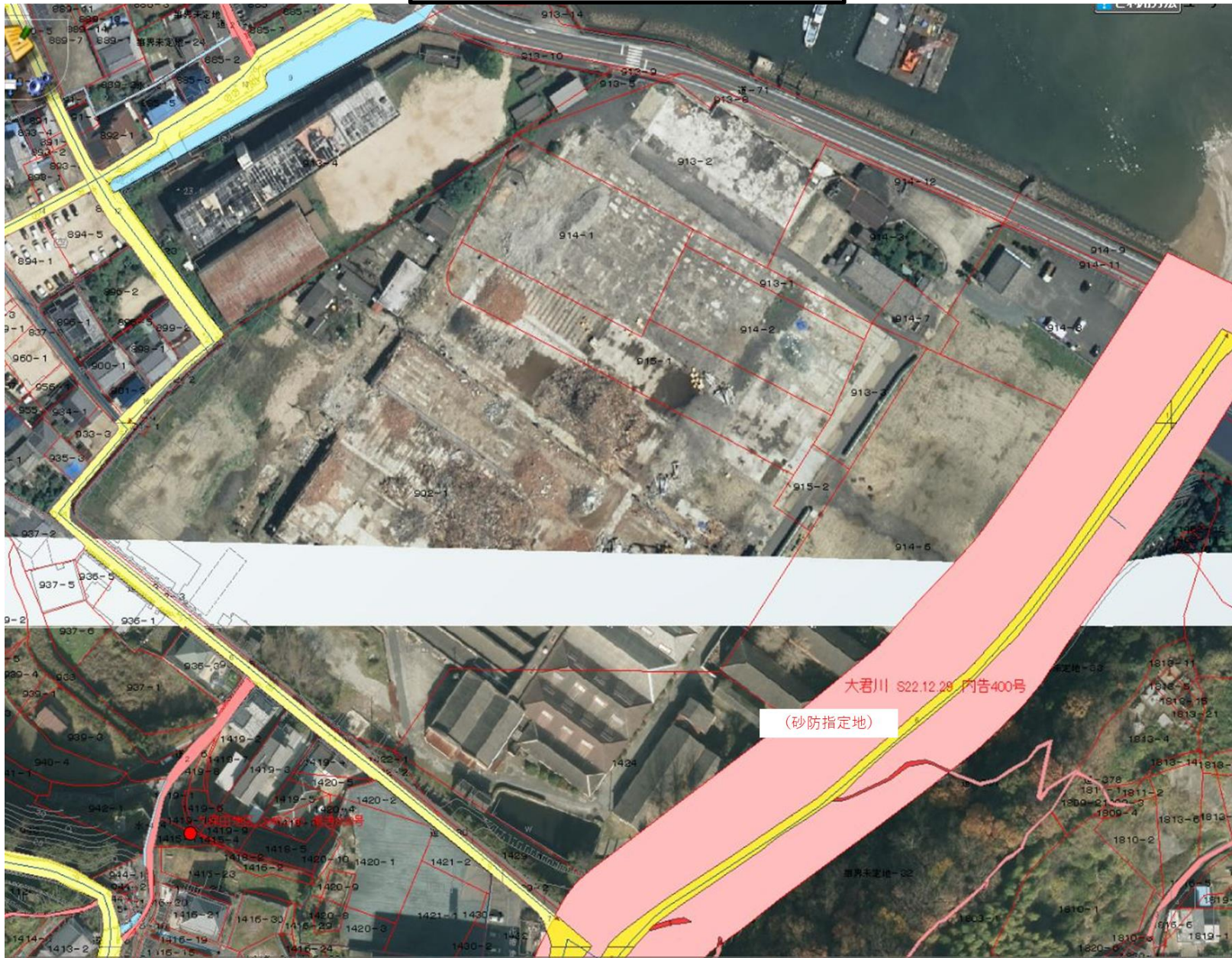
▼土砂災害警戒区域に関する注意

- 警戒区域や特別警戒区域を越えて被害が出る場合がありますので、適切な避難行動をとるようお願いいたします。

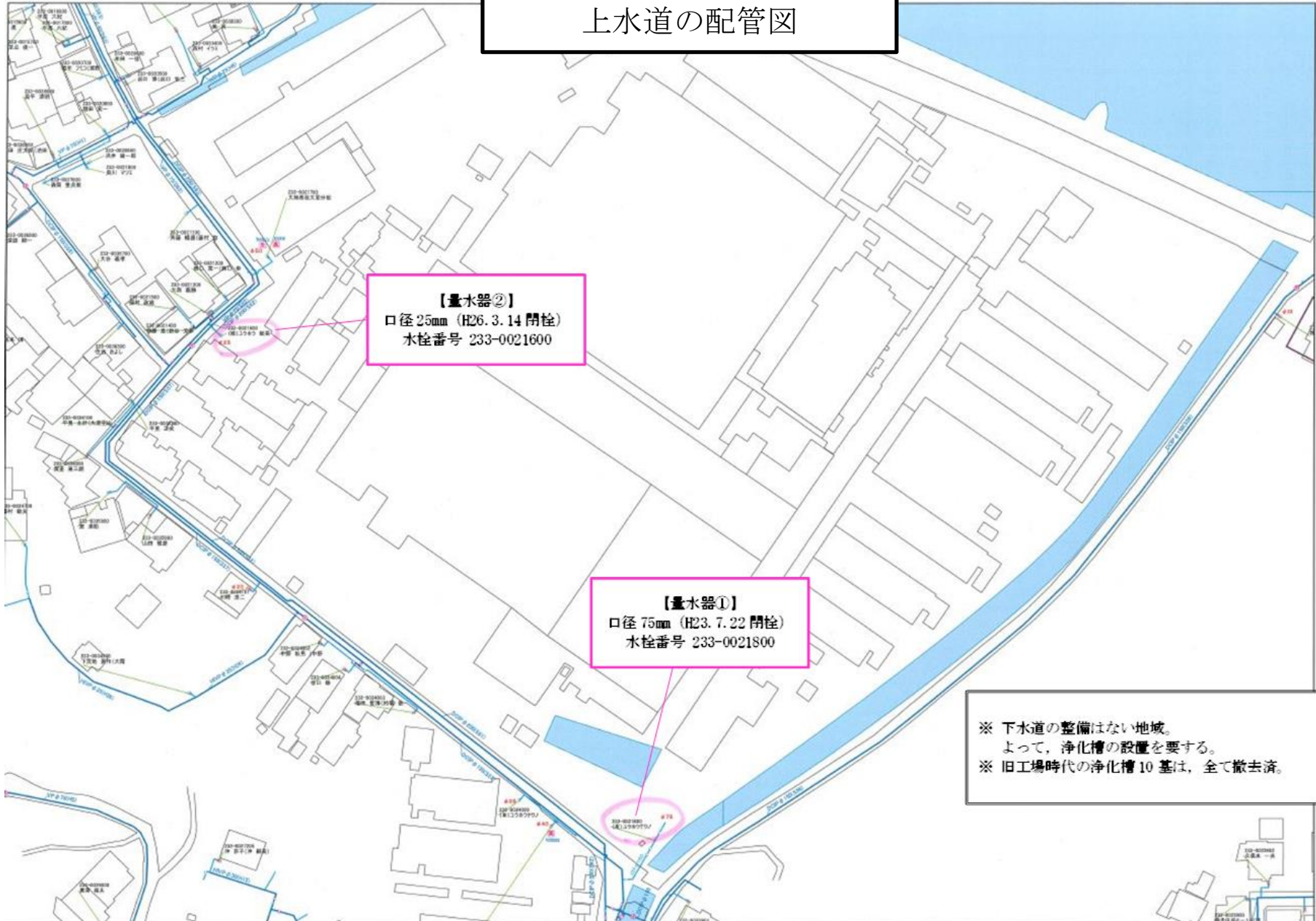
利用上の注意事項



砂防指定地の範囲



上水道の配管図



【量水器②】
口径 25mm (H26.3.14 閉栓)
水栓番号 233-0021600

【量水器①】
口径 75mm (H23.7.22 閉栓)
水栓番号 233-0021800

※ 下水道の整備はない地域。
よって、浄化槽の設置を要する。
※ 旧工場時代の浄化槽 10 基は、全て撤去済。

海水給水管・排水溝予想図



工業用水・専用水道配管位置図

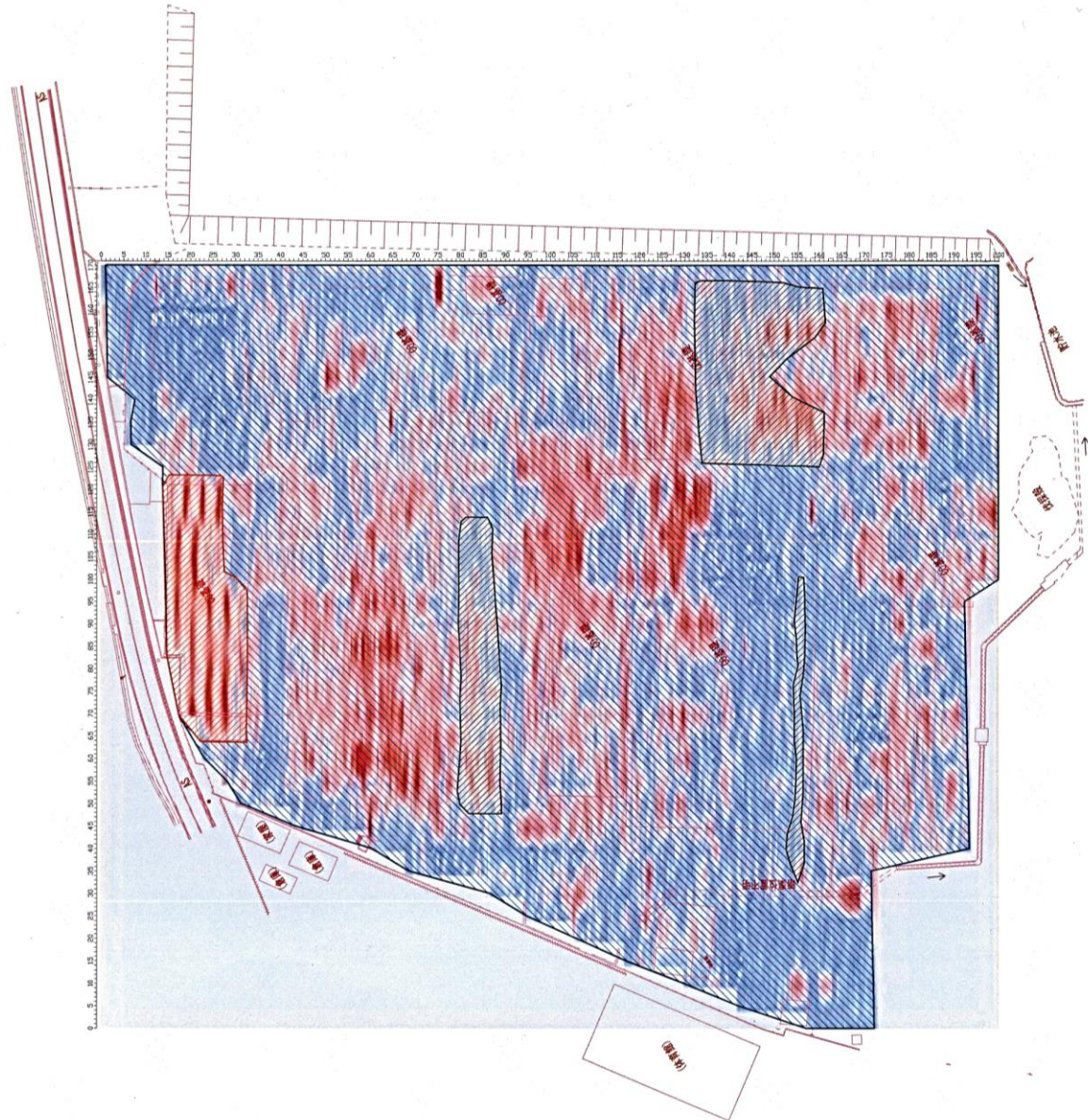
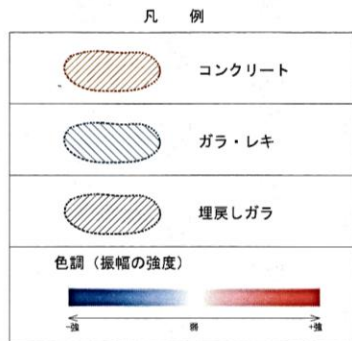
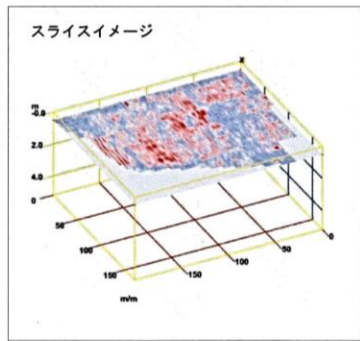


* 埋設物の種類区分

- 1.アスファルト(工場内道路)
- 2.コンクリート(工場基礎構造物、床敷面)
- 3.ガラ・レキ(工場建設時地盤強化材、解体時敷均し物など)
- 4.埋戻しガラ(試掘後埋戻し物、地下構造物及び通風孔等のコンクリ構造物など)

GL-0.5mスライス・3D解析結果図

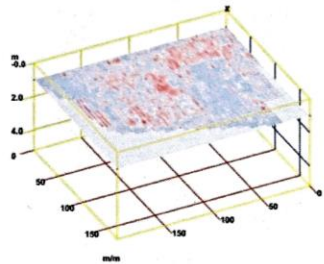
3D解析平面図（深度 0.5m）



GL-1.0mスライス・3D解析結果図

D解析平面図（深度 1.0m）

スライスイメージ



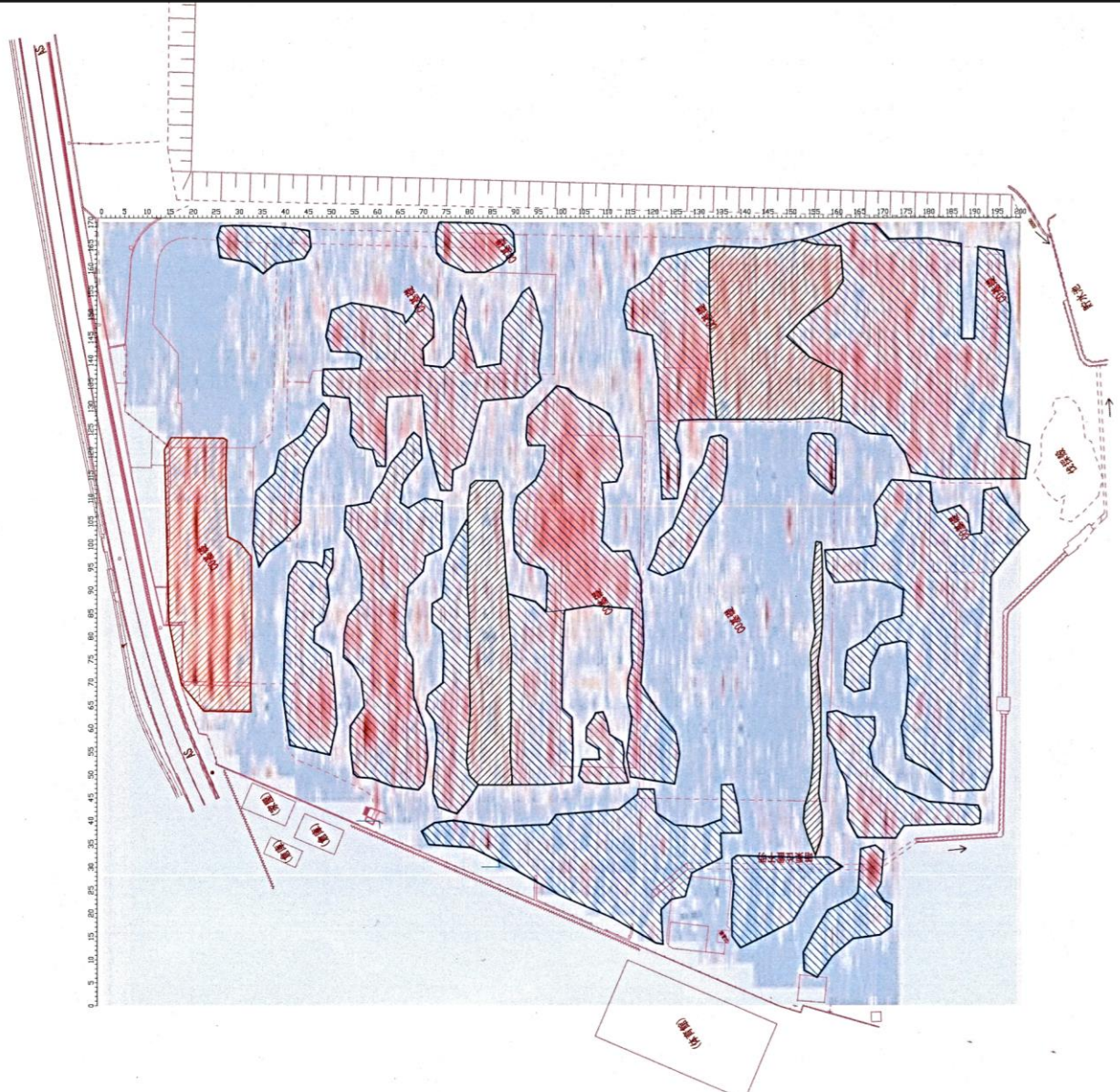
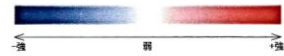
凡 例

 コンクリート

 ガラ・レキ

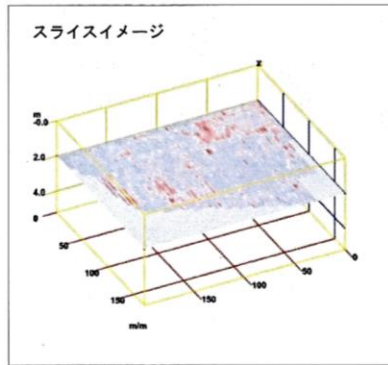
 埋戻しガラ

色調（振幅の強度）

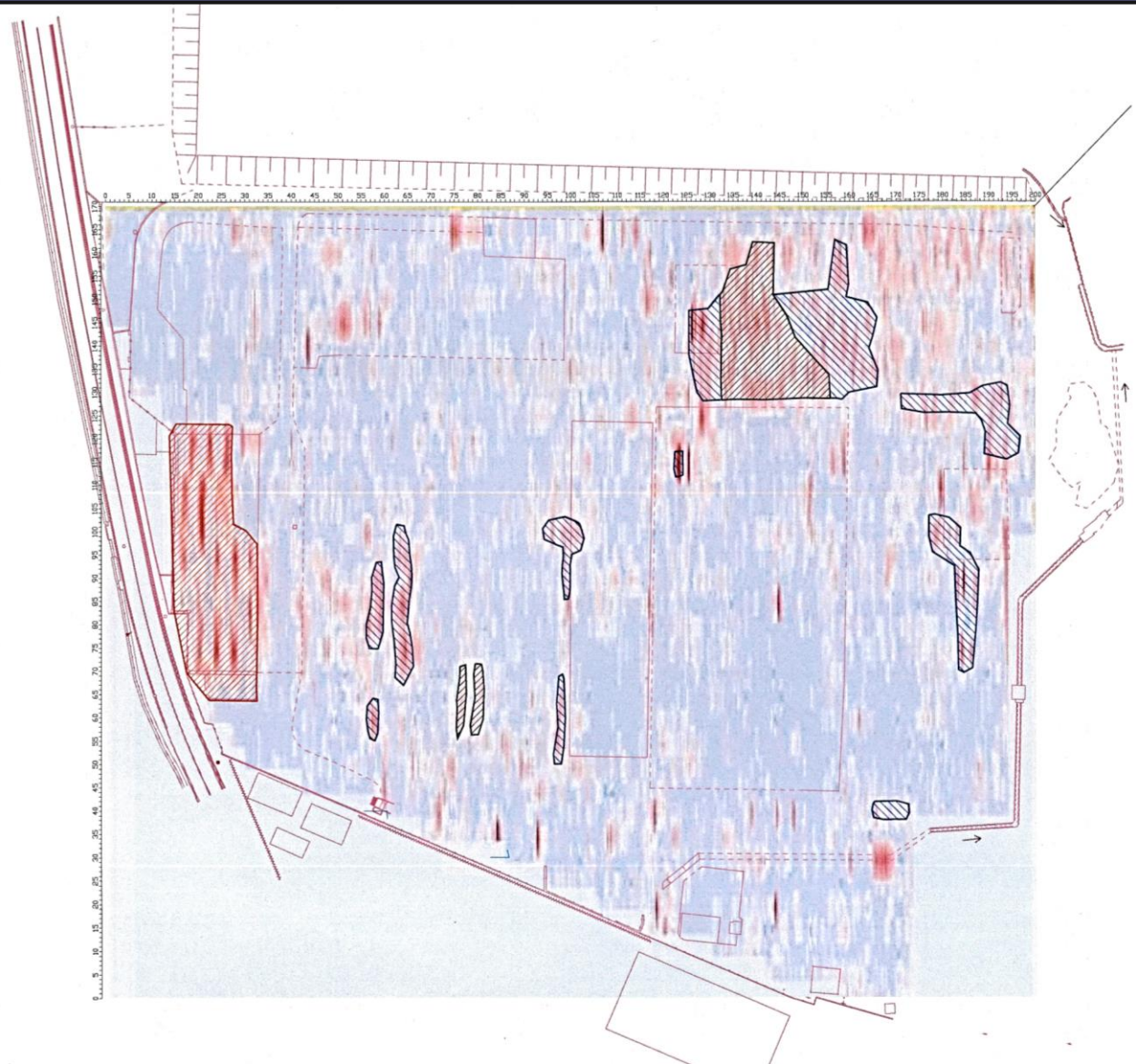
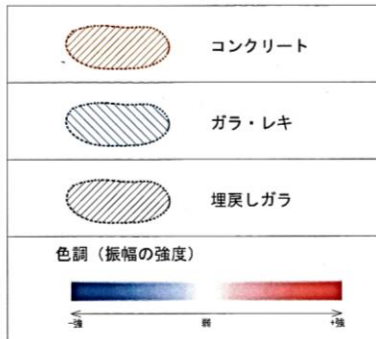


GL-2.0mスライス・3D解析結果図

3D解析平面図（深度 2.0m）

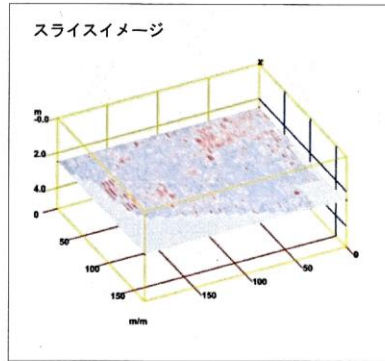


凡 例

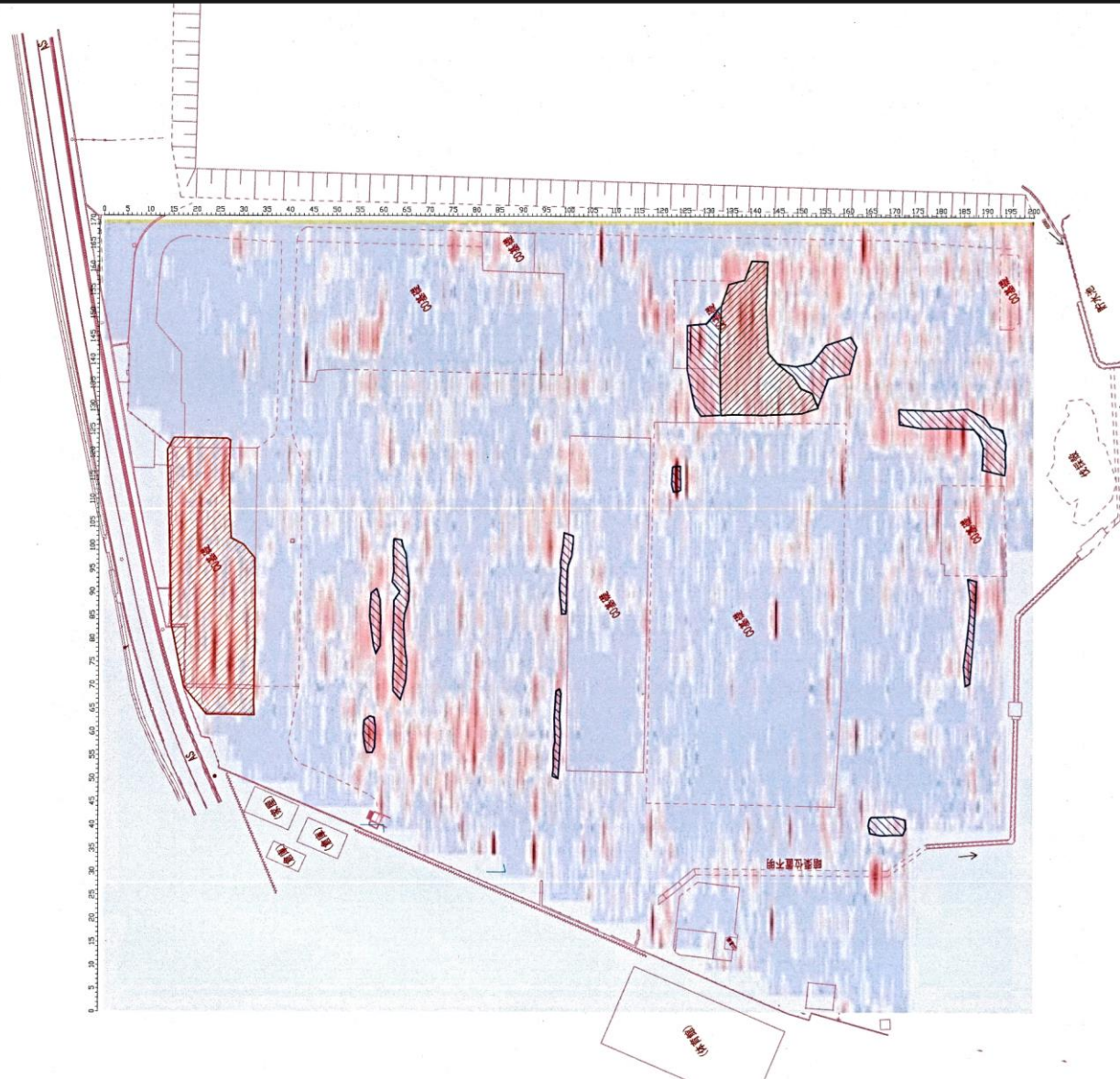
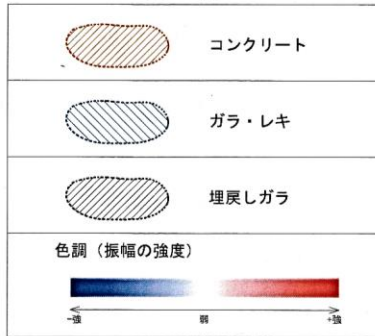


GL-2.5mスライス・3D解析結果図

3D解析平面図（深度 2.5m）

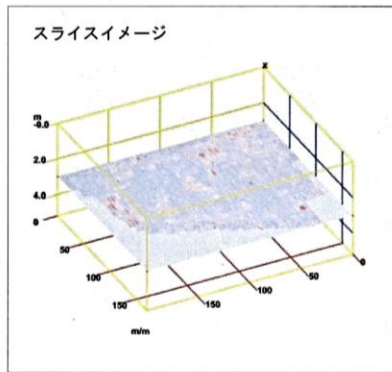


凡 例

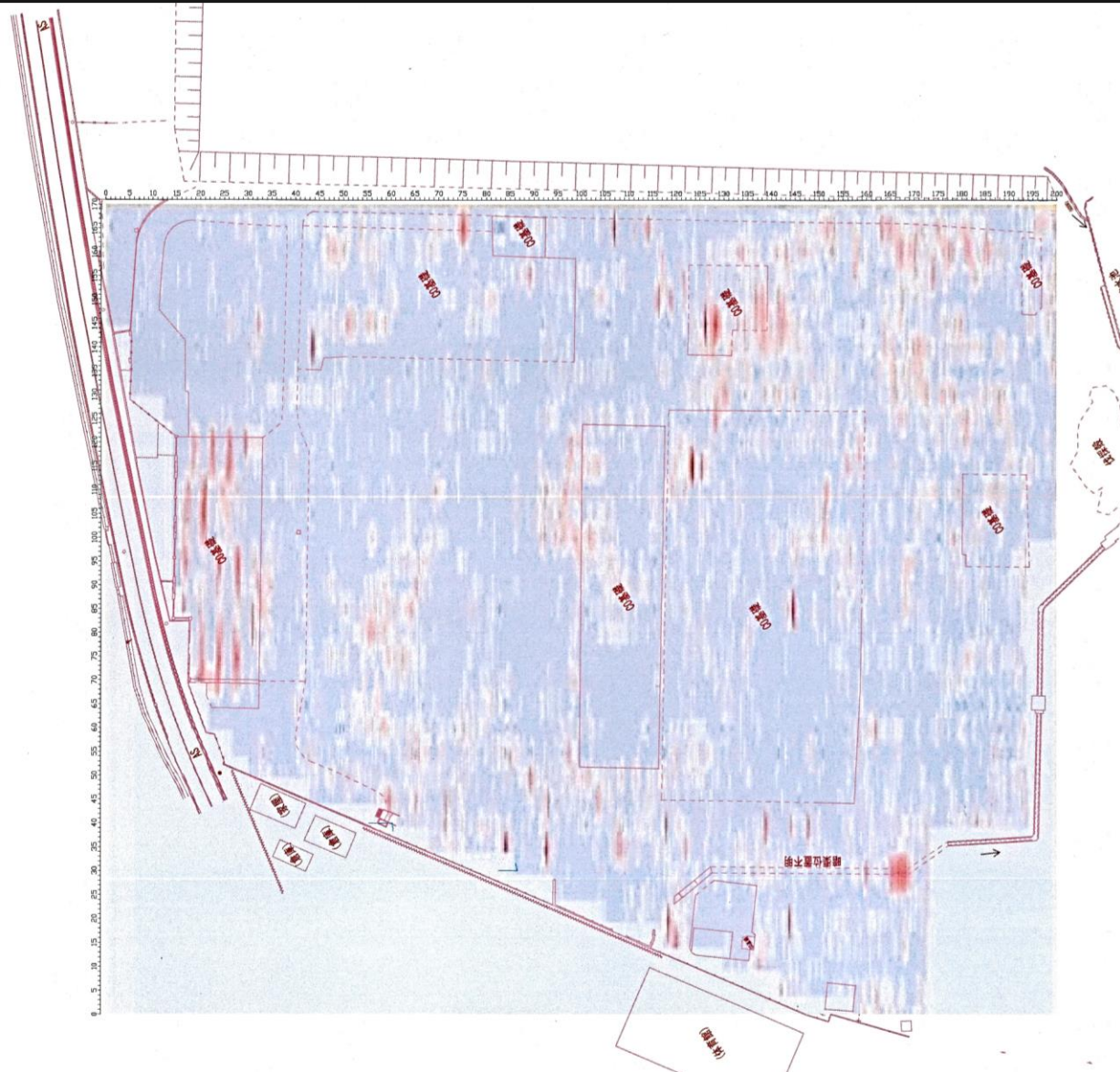
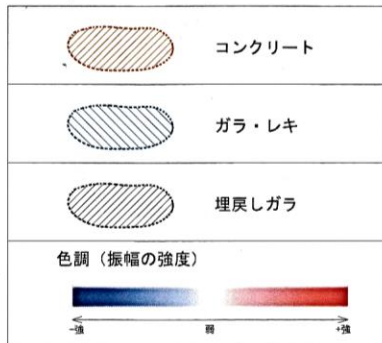


GL-3.0mスライス・3D解析結果図

3D解析平面図（深度 3.0m）



凡 例

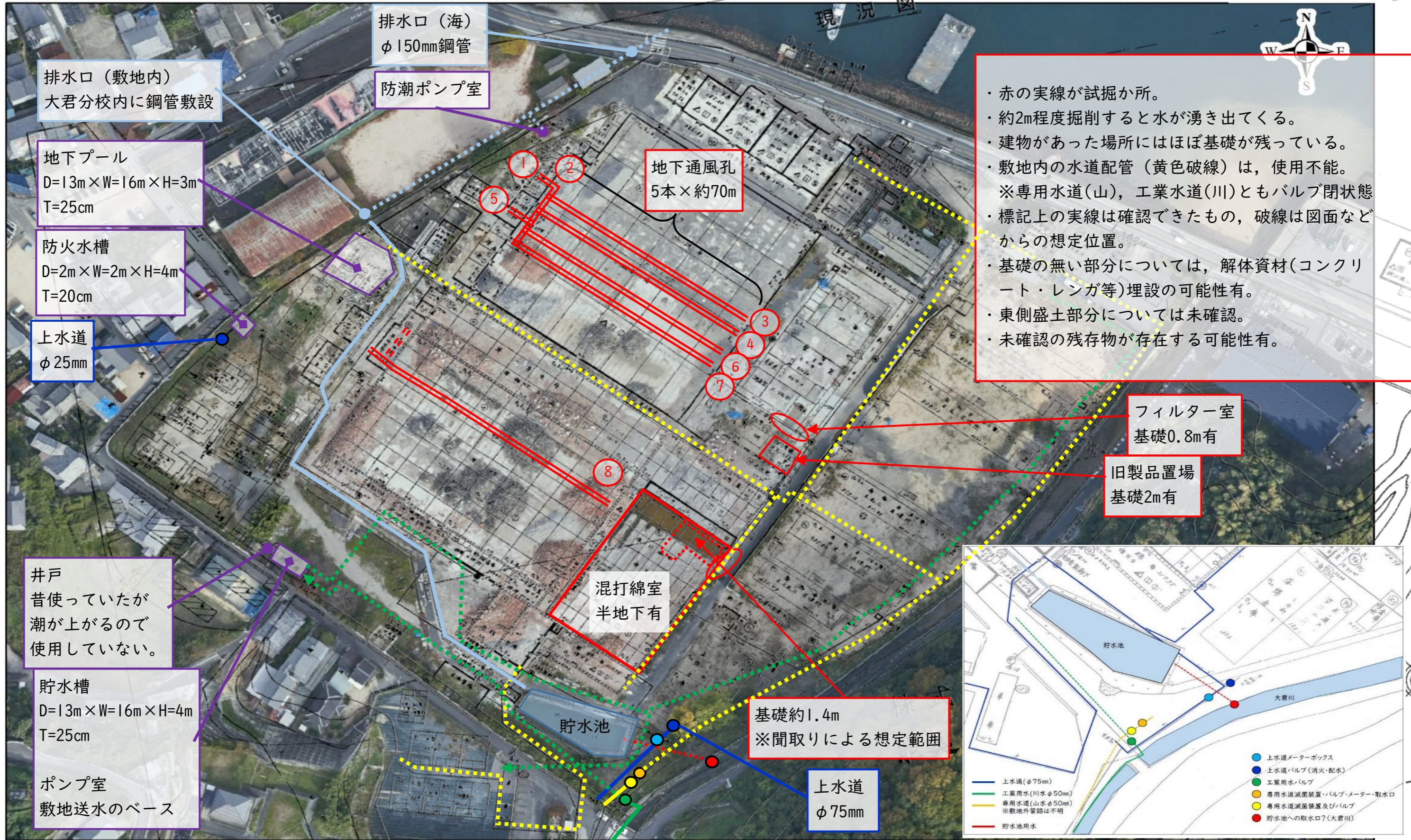


探査結果からの埋設物鉦量(体積)

■ ①コンクリート	2,693m ³
■ ②アスファルト	346m ³
■ ③ガラ・レキ	21,495m ³
■ ④埋戻しガラ	3,836m ³
合計	28,370m ³

旧ユウホウ紡績工場跡地 地下構造物等調査結果

令和4年7月12日



排水口（敷地内）
大君分校内に鋼管敷設

地下プール
D=13m×W=16m×H=3m
T=25cm

防火水槽
D=2m×W=2m×H=4m
T=20cm

上水道
φ25mm

井戸
昔使っていたが潮が上がるので使用していない。

貯水槽
D=13m×W=16m×H=4m
T=25cm

ポンプ室
敷地送水のベース

排水口（海）
φ150mm鋼管

防潮ポンプ室

地下通風孔
5本×約70m

混打綿室
半地下有

貯水池

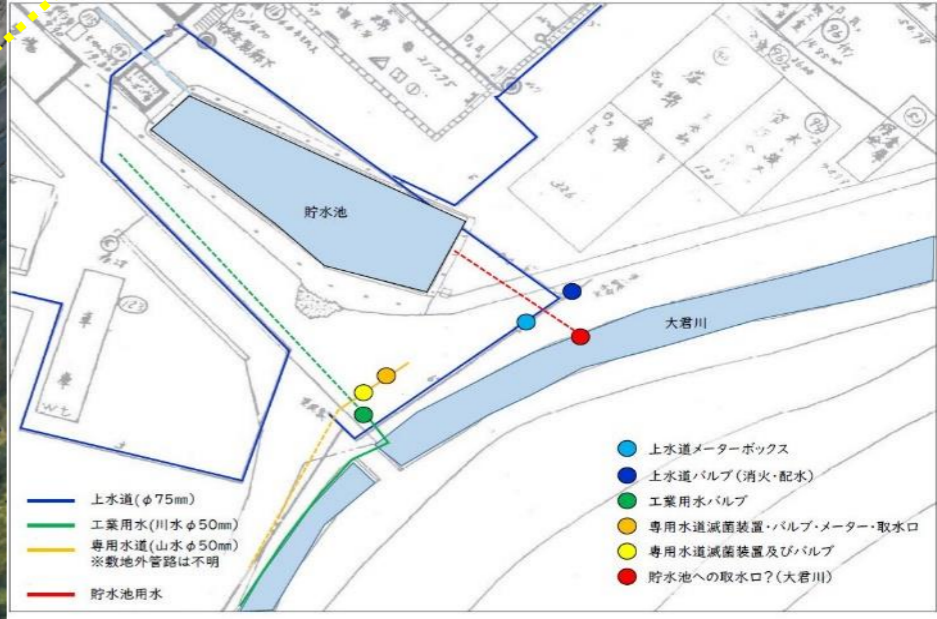
基礎約1.4m
※間取りによる想定範囲

上水道
φ75mm

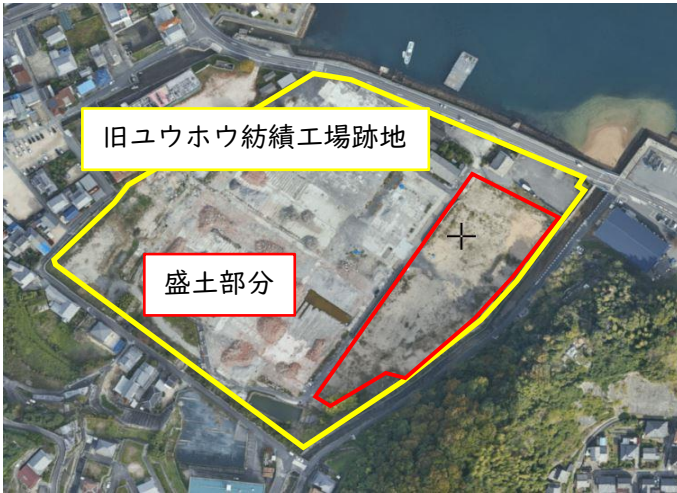
- ・ 赤の実線が試掘か所。
- ・ 約2m程度掘削すると水が湧き出てくる。
- ・ 建物があった場所にはほぼ基礎が残っている。
- ・ 敷地内の水道配管（黄色破線）は、使用不能。
※専用水道(山), 工業水道(川)ともバルブ閉状態
- ・ 標記上の実線は確認できたもの、破線は図面などからの想定位置。
- ・ 基礎の無い部分については、解体資材(コンクリート・レンガ等)埋設の可能性有。
- ・ 東側盛土部分については未確認。
- ・ 未確認の残存物が存在する可能性有。

フィルター室
基礎0.8m有

旧製品置場
基礎2m有

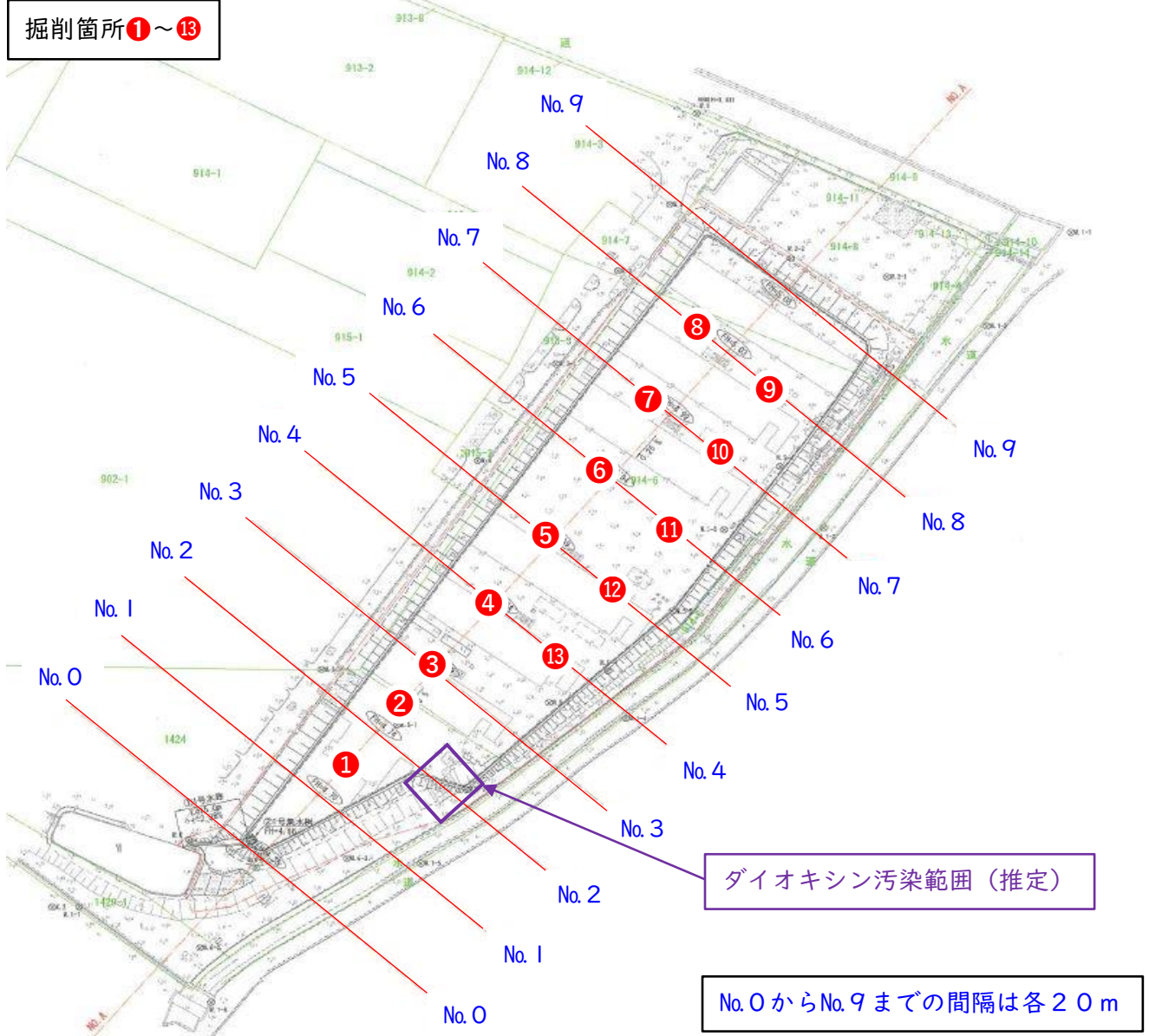


旧ユウホウ紡績工場跡地(盛土部分)掘削調査結果



掘削日時：令和5年6月26日(月)
掘削機体：バックホウ(SKI25SR 0.45)
掘削箇所：13カ所
※土木建築部協力のもとに調査
※掘削結果から盛土下部にレンガ層が発見されたが、地盤の一部を構成していると思われる。

掘削箇所①～⑬



ダイオキシン汚染範囲(推定)

No.0からNo.9までの間隔は各20m

各地点における掘削結果

地点No.	GLレベル(m)	レンガ下限値(m)	レンガ上限値(m)	備考
①	2.40	2.40	1.80	2.4mで建物基礎有
②	2.40	2.40	1.80	
③	2.45	2.45	1.78	
④	2.54	2.54	1.81	
⑤	2.55	2.21	1.72	
⑥	2.55	2.25	1.87	
⑦	2.68	2.34	1.70	
⑧	2.65	2.50	1.87	
⑨	2.65	2.31	1.69	
⑩	2.68	2.33	1.76	
⑪	2.55	2.38	1.81	湧き水あり
⑫	2.55	2.35	1.79	
⑬	2.54	-	-	レンガは未検出

※レンガについては、細かく破壊されている。(詳細は別紙写真参照)

